



↑ 学校ホームページもご覧ください。



綾瀬小だより

1月号

令和6年1月10日

足立区立綾瀬小学校

校長 小坂 裕紀

令和6年の始まりです！

校長 小坂 裕紀

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年度は少し長い冬休みとなりました。いかがお過ごしでしたか？旅行等に出かけたご家庭も多かったのではないのでしょうか。今年度も皆様とともに本校の教育活動を進めていきたいと考えています。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

さて新しい年が始まりました。ここで、次の項目について自分のゴールを考えてみてください。

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 どんな人生を送りたいですか？ | 2 憧れている人はいますか？ |
| 3 どんな人になりたいですか？ | 4 どんなことが好きですか？ |
| 5 どんなことをしている時が、一番楽しいですか？ | 6 どんなことが得意ですか？ |
| 7 何か大切にしていることはありますか？ | 8 夢や目標はありますか？ |

いかがでしたか？やや子供向けの内容ではありますが、これらの内容について考えることはできたでしょうか？普段から意識している内容は答えられ普段から考えていないことはイメージしづらかったのではないのでしょうか？

過去は変えられません。未来のことはわかりません。しかし、未来をつくることはできるのです。自分でこうしたい！と思って普段からそれを意識して行動することで、近づくことはできるのです。

ぜひ、新しい年の始まりにゴールを決めてみてはいかがでしょうか？



新しい年が幸せな一年になりますように

すべてのものは二度つくられる

すべてのものは、まず頭の中で創造され、次に実際にかたちあるものとして創造されます。

第一の創造は、知的創造、そして第二の創造は、物的創造です。

この原則は、私たちの様々な場面で見られ、例えば旅行に出るときには、行先を決めて最適なルートを計画する。庭をつくるなら、植物をどのように配置するか頭の中で想像を巡らすだろうし、紙にスケッチする人もいます。スピーチをするなら、事前に原稿を考える（書く）はずです。

私たちは日常生活において、つい第二の創造に目がいきますが、第一の創造にも責任を果たすことによって、私たちは影響の輪の中で行動し、影響の輪を広げていくことができるのです。逆に頭の中で思い描く第一の創造を怠ったなら、影響の輪は縮んでいくのです。

※「影響の輪」…自分でコントロールできる領域（7月号参照）



描くか委ねるか

この原則は、常に意識的に行われているわけではありません。日々の生活の中で自覚を育て責任をもって第一の創造を行えるようにならなければ、自分の人生を影響の輪の外にある状況や他の人たちに委ねてしまうこととなります。家族や同僚から押し付けられる脚本通りに生き、他者の思惑に従い、幼い頃に教え込まれた価値観、あるいは訓練や条件付けによってできあがった脚本を演じるという、周りのプレッシャーに反応する生き方になってしまいかねません。

人にある自覚・想像・良心という能力を働かせて、第一の創造を自分の人生を自分の手で描くこと。そうすると自分の人生の脚本を自分で書くことができるのです。

言い換えれば、第一の習慣（自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。）が言っているのは、「あなたは創造主」であり、第二の習慣（ゴールを決めてから始める）は、「第一の創造をする」習慣なのです。

今年も教職員一同、子供たちの笑顔のために力を合わせ実践してまいります。

保護者そして地域の皆さまのさらなるご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。